プレ・インターンシップ実施の流れ

体験先希望提出

↓

事前学習

- 個別面談（受入先、体験内容の調整）
- 集団研修（マナー講座、コミュニケーション講座）

↓

プレ・インターンシップ実施

- マイキャリポケットの活用（Plan、Do、Cheak、Actを毎日記入）

↓

事後学習

- 個別面談（体験を通して自分の課題を発見する）
- 体験報告書の作成、提出
- 体験報告グループディスカッション
- 自己の課題に対し、今後の学習計画を立てる

↓

体験報告会

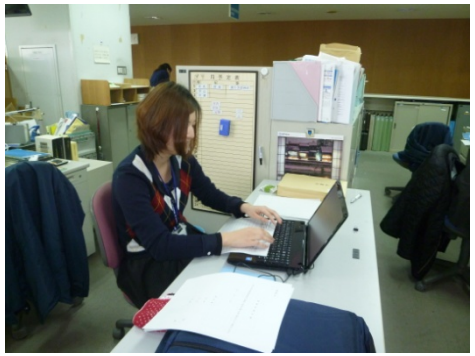
↓

評価

平成26年度プレ・インターンシップ登録先一覧

領域		登録数	所在地	事業内容
医療業		13	田川市郡:7、飯塚市:4、古賀市:1、久留米市:1	病院、薬局
運輸業		1	福岡市:1	運送他
卸小売業		14	田川市郡:5、北九州市:2、福岡市:2 福岡市近隣:3、粕屋郡:1、古賀市:1	食品、文具、資材の卸売
自治体		24	田川市郡:15、近隣市:6、福岡市:3	市役所、公的機関、図書館、美術館
娯楽業		1	飯塚市:1	アミューズメント
教育機関		1	飯塚市:1	公的機関
サービス業		5	福岡市:2、福岡近隣:1、田川市郡:2	派遣業
情報通信		2	田川市:1、飯塚市:1	ソフトウエア開発
スポーツ事業		1	北九州市:1	スポーツ振興
製造業		10	田川市郡:2、北九州市:3、福岡市:3 糟屋郡:1、飯塚市:1	食品製造、食品加工、資材製造
団体		13	田川市郡:4、北九州市:1、春日市:1、 直方:1、小郡:1、行橋市:2、飯塚市:1、 京都郡:1、嘉麻市:1	各種団体・組織
NPO		1	福岡市:1	ボランティア組織
福祉施設	高齢者	4	田川市:4	自立支援
	精神障がい者	1	田川市郡:1	自立支援
	知的障害	10	田川市郡:10	自立支援
不動産業		1	直方市:1	不動産
ホテル業		6	田川郡:1、飯塚市:2、苅田町:1、福岡市:2	ホテル業務
旅行業		1	直方市:1	観光紹介
合計		109		

プレ・インターンシップ体験風景

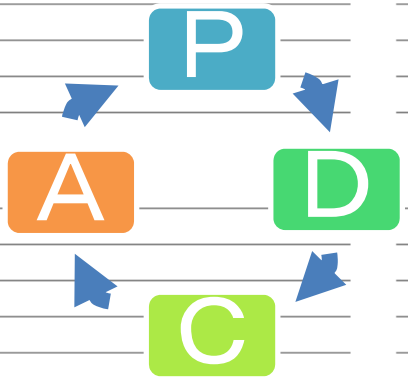


マイキャリポケットの配付

活動名　　団体名　　活動日（平成　年　月　日～平成　年　月　日）　回数（全　回）

Plan（活動の趣旨、目的、実施計画の理解）

Check（学びの成長についての理解）



Do（計画にもとづいた実行、活動状況）

Act（さらなる成長をめざした改善点）

マイキャリポケットを活用し、積み重ねることで、就職活動の時に、自分の取り組んだことを振り返ることができる。

学籍番号（　　）

夏季プレ・インターンシップのふり返りをグループディスカッション形式で実施

受講生は3つのグループに分かれ、科目担当教員のファシリテーターのもとで「活動の目的」「体験活動」「気づき」などを報告する。

＜私たちの気づきと課題＞（例）

- コミュニケーションの重要性（雰囲気作りの重要性、場面に応じたコミュニケーション、言葉だけでない、非言語のコミュニケーション）
- 仕事の厳しさ（細かい部分にもこだわる、正確な情報交換）
- 仕事の目的・意義（何のために仕事があるのか）

体験報告会

プレ・インターンシップの学修成果を
ポスターセッションにより報告

プレ・インターンシップの学修成果の評価

	学生 体験の振り返り （毎日）	評価			備考
		学生	指導者	受入先	
平成22年度		記述	記述		プレ・インターンシップ導入
平成23年度	マイキャリポケット	記述	記述	電話や訪問	マイキャリポケット導入
平成24年度	マイキャリポケット	記述	記述	電話や訪問	
平成25年度	マイキャリポケット	ルーブリック	記述	ルーブリック	プレ・インターンシップ単位化 ルーブリック導入
平成26年度	マイキャリポケット	ルーブリック	記述	ルーブリック	

平成24年度まで活用した学修評価表

評　価	項　目		評価					気付いたこと
評価方法：5段階評価 評価基準 下記の評価基準を参考に、各項目毎に最も近い数字に〇を付けてください。 5：良い 4：おおむね良い 3：どちらかと言えば良い 2：少し努力が必要 1：かなり努力が必要	基本的マナー	(1)あいさつ	5	4	3	2	1	
		(2)言葉遣い	5	4	3	2	1	
		(3)時間厳守	5	4	3	2	1	
		(4)服装	5	4	3	2	2	
		(5)身だしなみ	5	4	3	2	1	
	就業態度 コミュニケーション力	(6)行動力	5	4	3	2	1	
		(7)意欲	5	4	3	2	1	
		(8)協調性	5	4	3	2	1	
		(9)主体性	5	4	3	2	1	
		(10)報告	5	4	3	2	1	
		(11)連絡	5	4	3	2	2	
		(12)相談	5	4	3	2	3	
		(13)職場規律を守る	5	4	3	2	1	
		(14)仕事の理解度	5	4	3	2	1	
	総合評価		5	4	3	2	1	
特記事項	1.学生の印象 2.学生の変化、成長度 3.その他							
大学に対するご要望・意見								

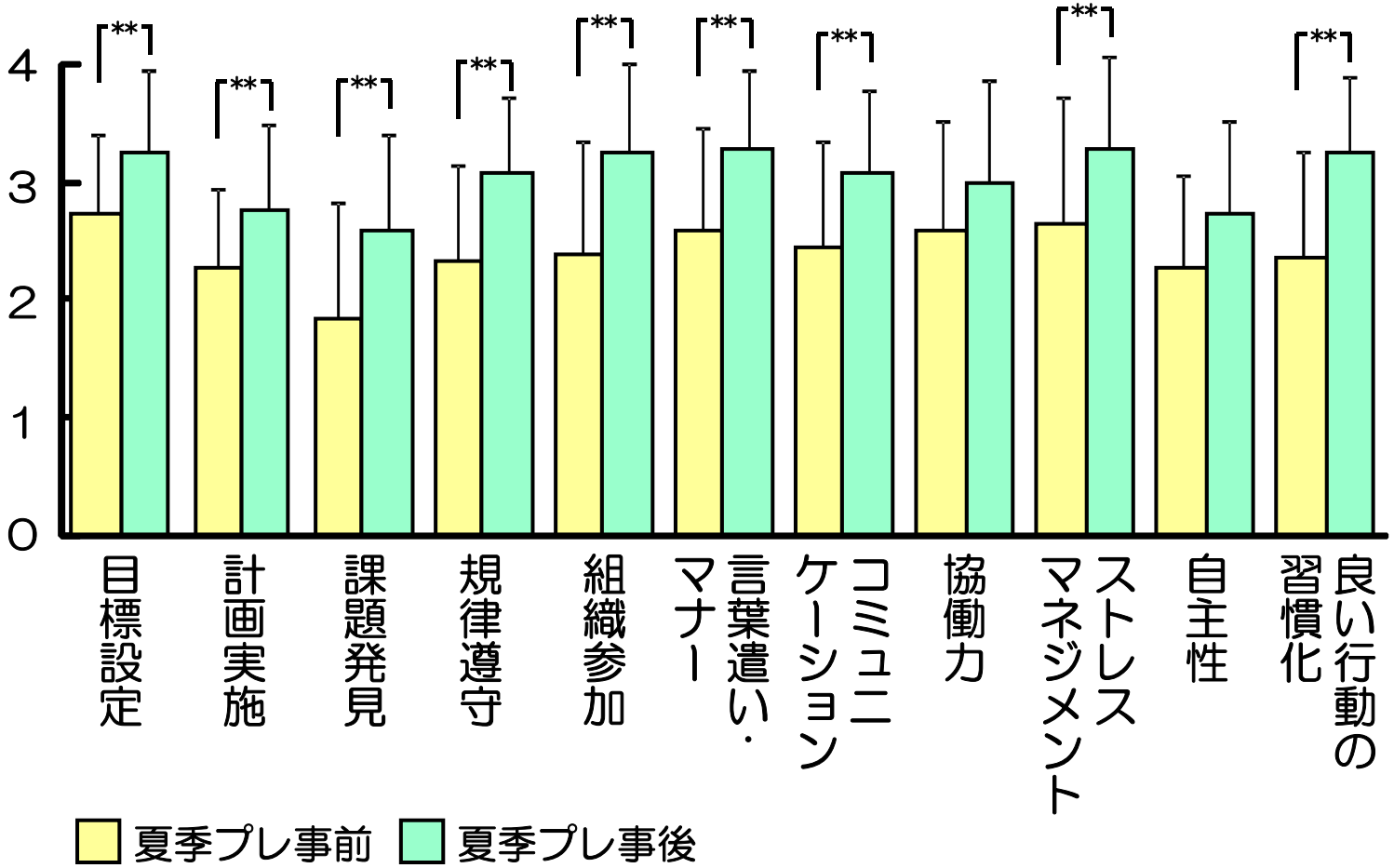
平成25年度に導入した学修評価表（ルーブリック）

評価レベル 項　目	4	3	2	1	評価欄
目標を 設定する	プレ・インターンシップ体験を通して学ぶことの意義について具体的に説明できる。	プレ・インターンシップの体験を通して学ぶ目的が理解できる。	プレ・インターンシップで体験したいことが明確である。	プレ・インターシップに参加したいと思っているが、目標が漠然としている。	
計画を 実践する	状況や場面に応じた計画を立案し、計画を的確に実践できる。	状況や場面に応じ、計画変更・修正の必要性に気づき，指導者の承諾を得、変更・修正できる。	計画に基づいて実践し、指導者からの計画の変更・修正に対応できる。	計画に基づいて実践しようとする。	
課題を 発見する	気づいた業務上の課題解決に向けて、プレゼンにより，具体的に説明できる。	気づいた業務上の課題に対して、解決策を提案しようとする。	業務上の課題に気づきそのことを指導者に伝えることができる。	与えられたテーマに集中して取り組むことができる。	
規律を守る	職場における約束事の意味を理解して守り、他者に対して助言・アドバイスもできる。	職場における約束事の意味を理解して守り、他者の模範となる行動ができる。	職場における約束事の意味を理解した上で守ることができる。	職場における約束事は理解できていないが，規則を守ることはできる。	
組織への 参加	体験先の事業内容を理解し、どのような点が共感できるか具体的に説明できる。	体験先の事業内容を理解し、事業内容に対し共感的な態度がみられる。	体験先の事業内容を理解し、積極的に参加できる。	体験先の事業内容を理解できている。	
コミュニケーション力	相手や場面に応じた、言葉遣いやふるまいが相手に好印象を与える。	相手の立場や、年齢に応じた言葉遣いやふるまいが適切にできる。	相手の立場や、年齢に応じた言葉使いやふるまいに違和感がみられない。	言葉使いやふるまいに違和感がみられる。	
	相手が伝えたいことを共感的に理解し、自分の考えや思いを伝えることができる。	相手が伝えたいことを理解し、理解したことを確認できる。	相手のはなしを理解できる。	相手が伝えたいことを聞こうとする姿勢がみられる。	
協働力	場の流れを理解し、適切に協働することができる。	積極的に参加の意思表示を行い協働できる。	自ら協力しようとする姿勢がみられる。	相手から協力を求められたときに対応できる。	
ストレス マネジメント	自分の感情をコントロールし、モチベーションを維持することができる。	自分の感情をコントロールし、平常心を維持できる。	自分の感情に左右されることがあるが、平常心でいることができる。	自分の感情に左右されることがあり、そのことが表情にでることがある。	
自主性	業務に対して、創意工夫をしながら意欲的に取り組むことができる。	業務に対して、効率的な方法を考えて取り組み，自ら次の指示を受けようとする。	与えられた業務に対して、効率的な方法を考えて取り組もうとする。	与えられた業務を忠実に実行できる。	
良い行動の 習慣化	体験を通して自分の課題を明らかにし、成長につながる学修計画を立て実行することができる。	体験を通して自分の課題を明らかにし、成長につながる学修計画を立てることができる。	体験を通して自分の課題を明らかにし、学修計画を立てることができる。	体験を通して、自分の課題を明らかにすることができる。	

学修評価表（ルーブリック）を使った事前事後での自己評価と受入先による外部評価（例）

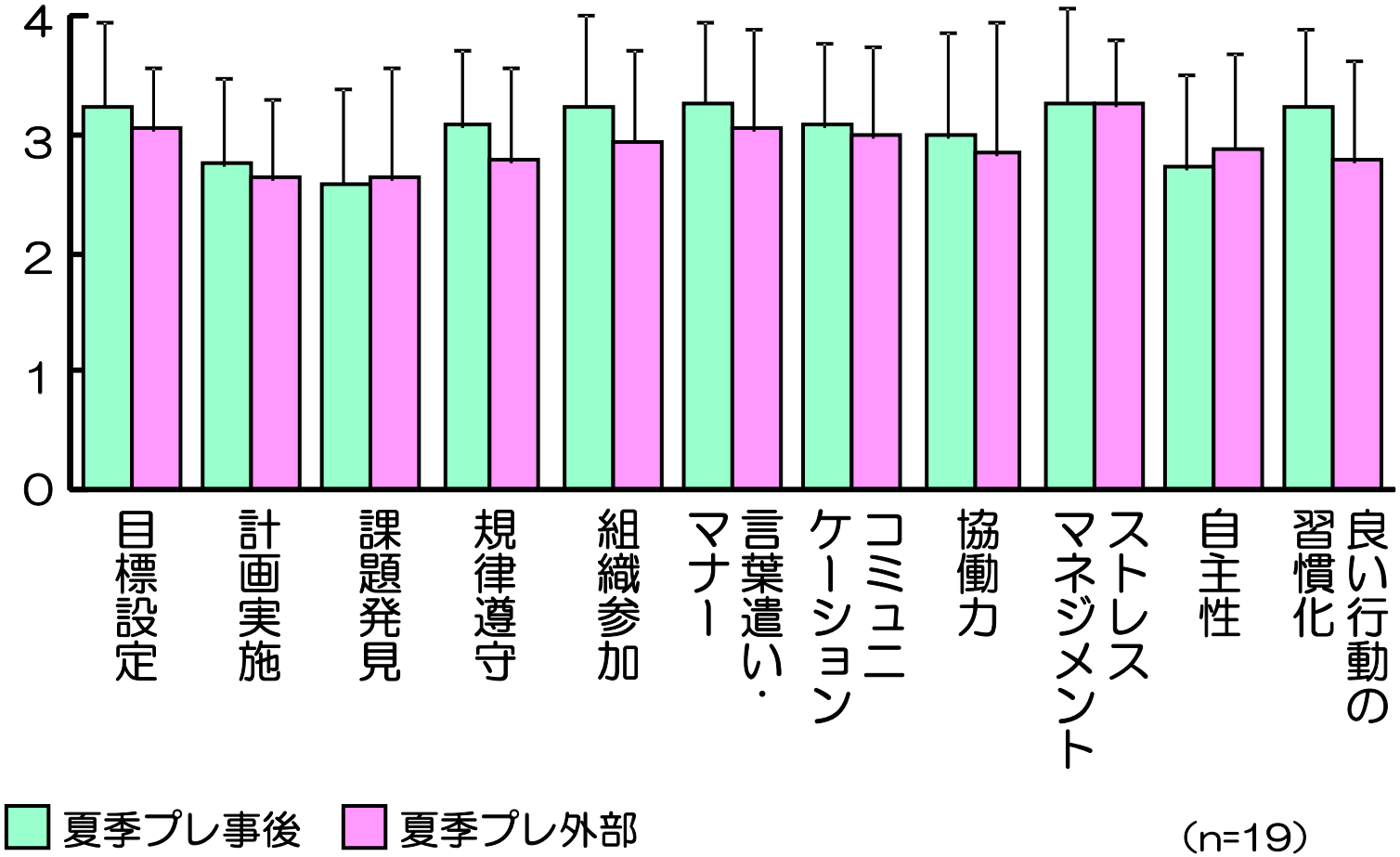
体験先	○○	日　程　8月8日～8月13日											
項目	目的・目標・課題・コメント	評価項目	対課題基礎力			対人基礎力					対自己基礎力		
			目標設定	計画実施	課題発見	規律遵守	組織参加	言葉遣い、マナー	コミュニケーション	協働力	ストレスマネジメント	自主性	良い行動の習慣化
目的・目標	接客を通して、コミュニケーションに必要なこと（相手の目を見て話を聴く、相手に分かりやすく伝える等）を見出す。	事前	3	3	2	2	3	3	3	4	3	2	3
体験内容	使用したトレイとトングを拭く コーヒーカウンターでの接客 商品の陳列 調理場で食材の下準備（ウインナー、ベーコン、きのこを切る）	事後	4	3	4	3	3	4	3	3	3	4	3
学びと気づき	指示されたことを確実に行う為には、話をきちんと聴き2度聞かないように気をつけることが重要であると学んだ。 何事も素早く取り組むことで余裕ができ、周りへの目配りなどのもできることを学んだ。 子ども連れのお母さんに配慮している自分に気づき、助産師を目指したい気持ちが強くなった。	外部	3	3	3	4	3	4	3	3	3	3	3
課題	助産師を目指して頑張る。 何に取り組むにも気持ち次第なので、何事にも前向きに取り組んでいく。		とても落ち着きがあり、礼儀正しい学生。自然な笑顔や雰囲気が素晴らしかった。										

平成25年度 ルーブリックによる
プレ・インターンシップ事前・事後自己評価



Wilcoxonの符号付き順位検定　**p<0.01　（n=25）

平成25年度 ルーブリックによる
プレ・インターンシップの自己評価と外部評価



インターンシップ（3年次）の概要

「職業選択準備型」のインターンシップ

　プレ・インターンシップで獲得した就業力を基盤に、職業選択や職業生活への理解を深め、将来の就職活動や就職後の適応を円滑にすることを目的としている。

主な対象学年　夏：3年生　　春：2・3年生

期間　1～2週間　　単位化していない

マッチング方法

　九州インターンシップ推進協議会

　筑豊地域インターンシップ推進協議会

　その他、大学と受入先で覚書を交わすもの

まとめと今後の課題

初年次からの段階的なインターンシップ

1. プレ・インターンシップの導入
   - 単位化・・・シラバスに基づいた教育プログラムの実施
   - 学修評価へのルーブリック導入・・・学生へ到達レベルを判断する指標を具体的に明示、受入先へ学生評価の視点を明確化
2. キャリア教育型（課題協働型、事業参画型）インターンシップの教育プログラム開発
3. ４年間を通したキャリア形成支援